

事務事業名	市政功労者表彰式典実施事業				担当	総務部 秘書課 秘書政策係		
政策名	H	施策体系外			増補版施策名			
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S32 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市表彰条例							
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費				
事業概要	本市の行政、教育、文化、産業、経済、社会事業及びその他の公益事業に関して、著しい功績のあった者を10月1日の市制施行記念日に表彰しその功績をたたえる。また、市に対し多額の金品を寄付した者や、道徳上の美事をなした他の模範となる者についても同様に表彰する。表彰は、表彰状と記念品を授与して行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 各課からの内申に基づき表彰審査委員会を開催し被表彰者を決定。議員市政功労者要職者等を招待し市民会館で表彰式典を開催。  30年度計画 平成29年度と同じ。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	内申人数	人	62	44	29	46	40
	イ							
	ウ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 被表彰者 式典参加者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	被表彰者数	人	62	44	29	46	40
	イ	式典参加者数	人	153	178	150	170	170
	ウ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 様々な分野で功績を挙げた方々を顕彰する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	市政功労者の総数	人	1,454	1,498	1,527	1,573	1,613
	イ							
	ウ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民の市政に対する意識の高揚。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	市政に対する意識の高揚が図られた市民の割合	%	66.1	64.8	66.8	67.4	
	イ	(市民意向調査より)						
	ウ							
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	991	857	547	883	872	
	事業費計(A)		千円	991	857	547	883	872
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40
		人件費計(B)	千円	169	168	166	166	166
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,160	1,025	713	1,049	1,038	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	多年にわたり各分野で市政の発展に功績を挙げた方々、及び市に多額の寄付をした団体及び個人を広く顕彰するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	